

はじめに

対象商品：ビニル床タイル全商品

・ビニル床タイルは適切なメンテナンスを行うことで、長く美観を維持することができます。日常の清掃・管理、予め汚れを防止する配慮が特に重要となります。またコーティング商品を選択したり、ワックスメンテナンスを現場状況や目的に合わせて行うことで、美しい床をより長持ちさせることができます。 ※コーティング商品：ワックスフリー エグザフロア、ワックスフリー リファインバックエグザ、カスタムオーダー（ワックスフリー EXA コーティング）

ビニル床タイルを美しく保つための
3つのポイント

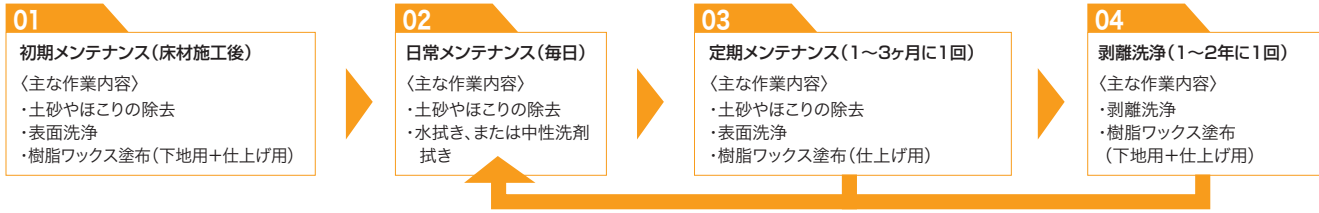
1 汚れを持ち込ませないための予防
(入口部分へのマット設置など)

2 「汚れたらすぐに拭き取る」日常管理

3 「汚れを溜めない」メンテナンス管理

■ビニル床タイル(通常品)のメンテナンスサイクル

対象商品：エグザフロア、ベストフロア、リファインバックエグザ
※コーティング商品については P.292～293 を参照ください。



01 初期メンテナンス (床材施工後)

ビニル床タイルに樹脂ワックスを塗布する場合は、ワックスの密着不良を避けるため、**表面洗浄後に必ず下地用樹脂ワックスを塗布することが必要です。**
※当社指定下地用樹脂ワックス「P-711」 その上で、耐ヒールマーク性に優れた「ノンヒールネオ速乾」を1～2層塗布して仕上げます。

■作業手順

1. ゴミ、埃の除去	・ダスターなどで床面のゴミ・埃を回収します。
2. 養生	・養生テープでカーペットフロアとの境や什器類など、洗浄汚水を飛散させないようにします。
3. 洗浄	・「NEWプロインパクト」を約30倍に希釈して塗布します。 ・シャンピングポリッシャー(緑パッド)を使用して洗浄します。汚水は吸水バキューム等で回収します。
4. 水拭き・乾燥	・床が乾燥する前に、水拭き用モップで水拭きをしっかりと3回行います。また送風機等で十分に乾燥させます。
5. 樹脂ワックス塗布	・最初に、下地用樹脂ワックス「P-711」を1層塗布します。塗布後、送風機等で十分に乾燥させます。 ・次に、仕上用樹脂ワックスとして「ノンヒールネオ速乾」を1～2層塗布します。 ※ワックスを塗布する際は、均一に塗り残しのないよう塗布します。 ※塗り重ねる際は、十分に乾燥させてから(目安:ベタツキ感がなくなってから)行います。
6. 乾燥	・送風機等で十分に乾燥させます。

■洗剤や樹脂ワックスの種類

作業手順	洗剤/樹脂ワックス	洗剤名/ワックス名	希釈倍率/層数	洗浄器具
洗浄	アルカリ性洗剤	NEWプロインパクト	約30倍	シャンピングポリッシャー(緑パッド)
樹脂ワックス塗布	樹脂ワックス(下地用)	P-711	1層	ワックス用モップ
	樹脂ワックス(仕上用)	ノンヒールネオ速乾	1～2層	ワックス用モップ

02 日常メンテナンス

頻度の目安:毎日

日常のメンテナンスでは水拭き、または洗剤を使用して汚れを除去します。洗剤を使用する場合は、希釈した洗剤をスプレーボトルに入れて散布し、モップを使用して擦りながら汚れを除去すると効果的です。また汚れの量が多く、面積が大きい現場でモップでは汚れを十分に除去しきれない場合、自動床洗浄機へ切り替えて洗浄します。クリーニングでは作業時間を考慮して効率的に行う事が重要です。

1. モップを使用したクリーニング方法

■作業手順

1. ゴミ、埃の除去	・ダスターなどで床面のゴミ・埃を回収します。
2. 養生	・養生テープでカーペットフロアとの境や什器類など、洗浄汚水を飛散させないようにします。
3. 水拭き	・水拭き用モップで水拭きを行い、こすりながら汚れを除去します。
4. 洗浄	・水拭きで汚れを除去できない場合は、中性洗剤または100倍以上に希釈したアルカリ性洗剤を使用します。 ・洗剤を下記より選択し、所定の倍率に希釈します。 ・希釈した洗剤をスプレーボトルに入れて汚れに直接吹きかけた後、モップを使用して洗浄します。また汚水は吸水バキューム等で回収します。
5. 水拭き・乾燥	・床が乾燥する前に、水拭き用モップで水拭きをしっかりと3回行います。また送風機等で十分に乾燥させます。

2. 自動床洗浄機を使用したクリーニング方法

■作業手順

1. ゴミ、埃の除去	・ダスターなどで床面のゴミ・埃を回収します。
2. 養生	・養生テープでカーペットフロアとの境や什器類など、洗浄汚水を飛散させないようにします。
3. 洗浄	・洗剤を下記より選択し、所定の倍率に希釈します。 ・パッドを下記より選択して洗浄機に取り付け、自動床洗浄機のタンクに希釈した洗剤を入れて洗浄します。
4. 水拭き・乾燥	・床が乾燥する前に、水拭き用モップで水拭きをしっかりと3回行います。また送風機等で十分に乾燥させます。

■汚れの度合いと洗剤の組み合わせ (汚れの程度に応じて選択してください。)

汚れの度合い	洗剤	洗剤名	希釈倍率	洗浄器具
日常作業の軽い汚れ	水拭き	—	—	モップ、または自動床洗浄機(白パッド、黄パッド、赤パッドから選択)
日常作業の普通の汚れ	中性洗剤	NEWプロインパクト中性	約50倍～100倍	
油污れなどの特にひどい汚れ	アルカリ性洗剤	NEWプロインパクト	約100倍以上	

※パッドは洗浄力の小さい方から白パッド、黄パッド、赤パッドの順になります。汚れの除去の度合いや現場状況などに応じて選定ください。

03 定期メンテナンス

頻度の目安：1～3ヶ月に1回

日常のメンテナンスで汚れが取りきれなくなったら、本作業を行います。洗剤の希釈を必要以上に濃くして使用したり、床面に長時間放置しないことが重要です。

■作業手順

1. ゴミ、埃の除去	・ダスターなどで床面のゴミ・埃を回収します。
2. 養生	・養生テープでカーペットフロアとの境や什器類など、洗浄汚水を飛散させないようにします。
3. 洗浄	・NEWプロインパクトを約50倍に希釈して塗布します。 ・シャンピングポリッシャー(緑パッド)を使用して洗浄します。汚水は吸水バキューム等で回収します。
4. 水拭き・乾燥	・床が乾燥する前に、水拭き用モップで水拭きをしっかりと3回行います。また送風機等で十分に乾燥させます。
5. 樹脂ワックス塗布	・ワックス用モップで樹脂ワックス(ノンヒールネオ速乾)を均一に塗り残しのないよう1～2回塗布します。
6. 乾燥	・送風機等で十分に乾燥させます。

■洗剤や樹脂ワックスの種類

作業手順	洗剤/樹脂ワックス	洗剤名/ワックス名	倍率/層数	洗浄器具
洗浄	アルカリ性洗剤	NEWプロインパクト	約50倍	シャンピングポリッシャー(緑パッド)
樹脂ワックス塗布	樹脂ワックス(仕上用)	ノンヒールネオ速乾	1～2層	ワックス用モップ

04 剥離洗浄

頻度の目安：1～2年に1回

ワックスメンテナンスでは、ワックスを重ね塗りしていくことでより汚れや傷を防止することができますが、経年とともにワックスの表面に汚れが残る場合があります。適切なメンテナンスを行っていても少しずつ汚れがワックス表面に堆積し、さらにその上からワックスを塗っていくことで汚れがワックスの皮膜の間に閉じ込められて、黒ずみようになってきます。したがって、年に1～2回のペースで一度古いワックスを剥離し、一から新しいワックスを塗っていく作業が必要になります。

■作業手順

1. ゴミ、埃の除去	・ダスターなどで床面のゴミ・埃を回収します。
2. 養生	・養生テープでカーペットフロアとの境や什器類など、洗浄汚水を飛散させないようにします。
3. 剥離洗浄	・NEWギガジェットを約5倍に希釈して塗布し、約5分間放置します。 ・シャンピングポリッシャー(茶パッド)を使用して洗浄します。汚水は吸水バキューム等で回収します。(剥離剤を塗布してから約30分以内)
4. 水拭き・乾燥	・床が乾燥する前に、水拭き用モップで水拭きをしっかりと3回行います。また送風機等で十分に乾燥させます。
5. 樹脂ワックス塗布	・初回のワックス塗布作業と同様に、下地用樹脂ワックス「P-711」を1層、仕上用樹脂ワックス「ノンヒールネオ速乾」を1～2層それぞれ塗布します。
6. 乾燥	・送風機等で十分に乾燥させます。

■剥離剤や樹脂ワックスの種類

作業手順	剥離剤/樹脂ワックス	製品名	希釈倍率/層数	洗浄器具
剥離洗浄	剥離剤	NEWギガジェット	約5倍	シャンピングポリッシャー(茶パッド)
樹脂ワックス塗布	樹脂ワックス(下地用)	P-711	1層	ワックス用モップ
	樹脂ワックス(仕上用)	ノンヒールネオ速乾	1～2層	ワックス用モップ

注意事項

- ・床材施工の接着剤が硬化してから、洗浄作業を行います。接着剤が硬化する前に洗浄作業を行うと、床材が剥がれやすくなります。
- ・洗浄後は、水拭きでの拭き上げを確実に行ってください。特にアルカリ性洗剤の場合、水拭きが不十分だとベタツキ感が残り、汚れを呼び込みやすくなります。
- ・汚れの付き方は歩行量や使用環境、メンテナンス方法や汚れの持ち込みなどで異なるため、現場状況に応じて洗剤の濃度や仕上用樹脂ワックスの塗布回数を指定の範囲内で調整してください。また洗剤塗布後、5～10分程放置して洗剤と汚れを馴染ませから洗浄すると効果的です。
- ・汚れがしつこく、自動床洗浄機で洗浄しきれない場合や、壁際などの汚れは、ハンドパッドを用いて洗浄すると効果的です。
- ・自動床洗浄機のご使用の際は、それぞれの洗浄機の使用方法や注意事項に基づいてご使用ください。
- ・パッドは作業内容に応じてパッドの色を確認の上選択してください。日常のメンテナンスで茶パッドなど研磨力のあるパッドで洗浄すると、ワックス層を傷つける恐れがあります。
- ・メラミンパッドの使用は避けてください。メラミンパッドで擦るとタイルにキズが付きやすく、光沢も変わる恐れがあります。
- ・床材施工当初は、床材からの可塑剤の移行があるため、樹脂ワックスのはじきが発生したり、樹脂ワックスの皮膜が床材と密着せずに歩行等により剥がれてしまうことがあります。初期洗浄の際は可塑剤の除去性に優れたアルカリ性洗剤を使用し、また多少粗めのパッド(緑パッド)を用い、丁寧に洗浄してください。なお床材施工当初は、湿気も多くワックスが乾きにくいことがありますので、ワックスは十分に重ね塗りしてください。
- ・床面の汚れ(ヒールマークなど)を完全に除去してから樹脂ワックスを塗布します。
- ・樹脂ワックスの密着不良を避けるため、初期メンテナンスの際は必ず下地用樹脂ワックスを塗布してください。(当社指定:P-711)
- ・剥離洗浄の際は必ず剥離剤の希釈倍率を守り、剥離剤を床面に長時間放置しないようにしてください。(剥離剤を塗布してから約30分以内に剥離汚水を回収するようにします。)
- ・土砂や汚れが持ち込まれると床面に傷が入り、汚れが入り込んだり光沢の低下を招く場合があります。その場合は定期メンテナンスの要領で床面を洗浄し、樹脂ワックスを3～4回塗り重ねることで傷は目立ちにくくなります。(元通りには戻りませんのでご注意ください。)
- ・ワックスにアルコールなどの溶剤をこぼすと白化する場合があります。その場合は剥離剤で白化したワックスを除去し、再度ワックスを塗布するようにします。

リファインバックエグザのメンテナンス上のご注意

- ・リファインバックエグザのワックスメンテナンスには、現場の状況や機性能など、目的に合わせた様々な種類の樹脂ワックスが使用できますが、初期メンテナンスでは表面洗浄後、必ず下地用樹脂ワックスP-711を塗布してください。特に帯電防止フィルム仕様品の場合は、製品の特性上、ワックスの密着性が悪くなる場合がありますのでご注意ください。
- ・帯電防止性能を求める場合は、仕上用樹脂ワックスとして「ノンスタック」を使用願います。(汎用樹脂ワックスでは帯電防止性能が低下する場合があります。)
- ・リファインバックエグザは置敷き施工のため、メンテナンスの際に大量の水や洗剤、ワックスなどを使用することができません。(大量の水を使用しますと目地部分から水が入り込み、衛生上好ましくないばかりでなく接着不良や床下の配線に悪影響をおよぼすことがありますので、十分にご注意ください。)
- ・ワックスを塗布する際は、タイルの継ぎ目に溜まらないように注意します。タイルの継ぎ目に樹脂ワックスが浸み込むと接着剤の役目をし、タイルを外せなくなるおそれがありますので、直接床に樹脂ワックスを撒いて塗布することは避けてください。
- ・剥離ができなくなる恐れがあるため、原則としてワックスは薄く塗布し、できるだけワックス皮膜が厚く堆積しないようにします。

■ワックスフリー エグザフロア、ワックスフリー リファインバックエグザ、カスタムオーダー(ワックスフリーEXAコーティング)のメンテナンス 対象商品:ワックスフリー エグザフロア、ワックスフリー リファインバックエグザ、カスタムオーダー (ワックスフリー EXA コーティング) はじめに

ワックスフリー エグザフロア、ワックスフリー リファインバックエグザ、カスタムオーダー (ワックスフリー EXA コーティング) はヒールマークが付きにくく、付いても取れやすくなっています。また日常メンテナンスや定期メンテナンスを適切に行うことで、床の表面をきれいに保つことができますが、ヒールマーク等の汚れは時間とともに落としにくくなりますので、できるだけ早いうちに除去することが必要です。なお外から砂や石などが持ち込まれると床材の表面を傷つける恐れがあるため、入り口付近へのマットの設置など汚れを持ち込ませないための予防もメンテナンス上でのポイントとなります。また汚れの付着状況に応じて、ビニル床タイル (通常品) と同様に、ワックスメンテナンスに切り替えることができます。

日常メンテナンスは美観を維持する上で最も重要であり、どのような床材にも必要です。

01 初期メンテナンス (床材施工後)

ワックスフリー エグザフロア、ワックスフリー リファインバックエグザ、カスタムオーダー (ワックスフリー EXAコーティング) は、施工後すぐの樹脂ワックス塗布が不要です。施工後は2. の日常メンテナンスを行います。

02 日常メンテナンス

頻度の目安: 毎日

日常のメンテナンスでは水拭き、または洗剤を使用して汚れを除去します。洗剤を使用する場合は、希釈した洗剤をスプレーボトルに入れて散布し、モップを使用して擦りながら汚れを除去すると効果的です。

汚れの量が多く、面積が大きい現場でモップでは汚れを十分に除去しきれない場合、自動床洗浄機へ切り替えて洗浄します。クリーニングでは作業時間を考慮して効率的に行う事が重要です。

1. モップを使用したクリーニング方法

■作業手順

1. ゴミ、埃の除去	・ダスターなどで床面のゴミ・埃を回収します。
2. 養生	・養生テープでカーペットフロアとの境や什器類など、洗浄汚水を飛散させないようにします。
3. 水拭き	・水拭き用モップで水拭きを行い、こすりながら汚れを除去します。
4. 洗浄	・水拭きで汚れを除去できない場合は、中性洗剤または100倍以上に希釈したアルカリ性洗剤を使用します。 ・洗剤を下記より選択し、所定の倍率に希釈します。 ・希釈した洗剤をスプレーボトルに入れて汚れの箇所に直接散布した後、モップを使用して洗浄します。汚水は吸水バキューム等で回収します。
5. 水拭き・乾燥	・床が乾燥する前に、水拭き用モップで水拭きをしっかりと3回行います。また送風機等で十分に乾燥させます。

■汚れの度合いと洗剤の組み合わせ (汚れの程度に応じて選択してください。)

汚れの度合い	洗剤	洗剤名	希釈倍率	洗浄器具
日常作業の軽い汚れ	水拭き	—	—	モップ
日常作業の普通の汚れ	中性洗剤	NEWプロインバクト中性	約50倍~100倍	
油污れなどの特にひどい汚れ	アルカリ性洗剤	NEWプロインバクト	約100倍以上	

2. 自動床洗浄機を使用したクリーニング方法

P.290に掲載のビニル床タイル(通常品)の自動床洗浄機を使用したクリーニング方法と同様に行います。

03 定期メンテナンス

頻度の目安: 1~3ヶ月に1回

定期メンテナンスでは、アルカリ性洗剤と赤パッドを使用し、自動床洗浄機で洗浄します。定期メンテナンスでは特に日常のクリーニングの際に洗浄しきれなかった箇所もしっかりと洗浄し、汚れを蓄積させないことが重要です。

アルカリ性洗剤は長時間床に滞留させるとコーティング層へ影響を及ぼす恐れがあるため、素早い回収と十分な水拭きが必要です。

■作業手順

1. ゴミ、埃の除去	・ダスターなどで床面のゴミ・埃を回収します。
2. 養生	・養生テープでカーペットフロアとの境や什器類など、洗浄汚水を飛散させないようにします。
3. 洗浄	・アルカリ性洗剤 (NEWプロインバクト) を約50倍に希釈して塗布します。 ・赤パッドを自動床洗浄機に取り付けます。 ・自動床洗浄機のタンクに希釈した洗剤を入れて洗浄します。 ・汚水は吸水バキューム等で回収します。
5. 水拭き、乾燥	・床が乾燥する前に、水拭き用モップで水拭きをしっかりと3回行います。また送風機等で十分に乾燥させます。

■汚れの度合いと洗剤の組み合わせ (汚れの程度に応じて選択してください。)

汚れの度合い	洗剤	洗剤名	希釈倍率	洗浄器具
日常作業の軽い汚れ	水拭き	—	—	モップ、または自動床洗浄機 (白パッド、黄パッド、赤パッドから選択)
日常作業の普通の汚れ	中性洗剤	NEWプロインバクト中性	約50倍~100倍	
油污れなどの特にひどい汚れ	アルカリ性洗剤	NEWプロインバクト	約100倍以上	

*パッドは洗浄力の小さい方から 白パッド、黄パッド、赤パッド の順になります。汚れの除去の度合いや現場状況などに応じて選定ください。

ビニル床タイルのメンテナンス

■ワックスメンテナンスへ切り替えの場合

汚れの付着状況等に応じて、ワックスメンテナンスに切り替える事でより美観を保つ事が可能となります。作業手順は、P.290~291の一般ビニル床タイルのワックスメンテナンスと同様に初回のワックス塗布作業から行き、日常メンテナンス、定期メンテナンス、剥離洗浄のサイクルで行います。

注意事項

- ・洗浄後は、水拭きでの拭き上げを確実に行ってください。特にアルカリ性洗剤の場合、水拭きが不十分だとベタツキ感が残り、汚れを呼び込みやすくなります。
 - ・汚れの付き方は歩行量や使用環境、メンテナンス方法や汚れの持ち込みなどで異なるため、現場状況に応じて洗剤の濃度や仕上用樹脂ワックスの塗布回数を指定の範囲内で調整してください。また洗剤塗布後、5~10分程放置して洗剤と汚れを馴染ませてから洗浄すると効果的です。
 - ・ワックスを塗布していない状態での剥離剤の使用は避けてください。床材のコーティング層が侵される場合があります。
 - ・メラミンパッドの使用は避けてください。メラミンパッドで擦るとタイルにキズが付きやすく、光沢も変わる恐れがあります。
 - ・その他、自動床洗浄機のご使用の際は、それぞれの洗浄機の使用法や注意事項に基づいてご使用ください。
 - ・パッドは作業内容に応じてパッドの色を確認の上選択してください。日常のメンテナンスで茶パッドなど研磨力のあるパッドで洗浄すると、コーティング層を傷つける恐れがあります。
 - ・土砂や汚れが持ち込まれると床面に傷が入り、汚れが入り込んだり光沢の低下を招く場合があります。その場合は床面を洗浄し、樹脂ワックスを3~4回塗り重ねることで傷は目立ちにくくなります。(元通りには戻りませんのでご注意ください)
- <ワックスメンテナンスに切り替えの場合>
- ・樹脂ワックスの密着不良を避けるため、初期メンテナンスの際は必ず下地用樹脂ワックスを塗布してください。(当社指定:P-711)
 - ・ワックスフリー リファインバックエグザへワックスを塗布する場合、現場状況や機能性に合わせて仕上用樹脂ワックスをお選びいただけますが、帯電防止性を維持する場合は、下地用樹脂ワックスとして「P-711」を塗布した後、必ず仕上用樹脂ワックスとして「ノンスタック」をご使用願います。(汎用樹脂ワックスでは帯電防止性能が低下する恐れがあります。)
 - ・剥離洗浄の際は必ず剥離剤の希釈倍率を守り、剥離剤を床面に長時間放置しないようにしてください。(剥離剤を塗布してから約30分以内に剥離汚水を回収するようにします。)

住宅向けビニル床タイルのメンテナンス方法および注意事項 対象商品：ホームベスタ、ホームエグザ、おきピタッと イージー

■メンテナンス方法

床材を美しく保つためには、日常のお手入れが重要です。より汚れや傷を付きにくくするために樹脂ワックスを塗布することができます。

日常のお手入れ

- [1]床のゴミ、ほこりを除去します。 ●掃除機や乾式フロアワイパーなどを使用します。洗剤を使用する場合、床用の中性洗剤を使用します。
- [2]固く絞った雑巾で清掃します。 ●液体を床にこぼした場合は、放置せずすぐに拭き取ってください。
※床材を汚れや傷から保護し、きれいな状態を保つため、必要に応じてワックスかけを行うことをおすすめします。

ワックス掛け

- [1]床の汚れを除去し、水拭き後十分に乾燥させます。 ●(株)リンレイ社製「オール床クリーナー」の30倍希釈液とスポンジタワシ等で汚れを落とします。 ●部屋の隅から塗り残しの無いように薄くムラなく塗布します。
- [2]ワックスを塗布し、十分に乾燥させます。 ●ワックスが完全に乾くまでは歩いたり、物を置かないようにします。 ●剥離作業はできませんので、ワックスかけはできるだけ薄くし、ワックス皮膜が厚く堆積しないようにします。

ワックスについて

- ワックスの種類等によっては床に密着しにくい場合がありますので、必ず下表の「メンテナンス用指定ワックス」をご使用ください。
- ワックスは密着しないとすぐに取れてしまいます。適切な方法でワックスを塗布してください。

■ホームエグザ（ピールアップ工法）、おきピタッと イージーのメンテナンス上のご注意

ホームエグザ（ピールアップ工法時）、おきピタッと イージーは多量の水を使用すると目地部分から水が入り込み、接着不良等の悪影響をおよぼすことがありますので十分にご注意願います。

- ・洗浄の際は、タイルの継ぎ目から床下へ洗浄が入り込まないようにしてください。また多量に洗剤を使用したり、洗剤を床面に長時間放置しないようにご注意ください。
- ・剥離作業は行わないでください。剥離作業は使用する剥離剤の液量が多く、床下へ入り込む危険性があります。
- ・ワックスかけを行う際は、タイルの継ぎ目に溜まらないように注意します。タイルの継ぎ目に樹脂ワックスが浸み込むと、タイルを外せなくなるおそれがありますので、直接床に樹脂ワックスを撒いて塗布することは避けてください。

■メンテナンス用指定ワックス/洗剤一覧

対象床材	樹脂ワックス・洗剤	製品名	機能	対象床材	製品に関するお問い合わせ
一般ビニル床タイル	樹脂ワックス	UV樹脂加工塩ビ系床材対応ベースコート P-711	下地用樹脂ワックス	エグザフロア ベスタフロア リファインバックエグザ ワックスフリー エグザフロア ワックスフリー リファインバックエグザ カスタムオーダー(ワックスフリー-EXAコーティング)	株式会社 リンレイ (TEL:03-3543-2281)
		ノンヒールネオ速乾	耐ヒールマーク性		
		ノンスタック	帯電防止性		
		NEWアルテクト速乾	耐アルコール性		
	洗剤	NEWプロインパクト(中性・アルカリ性)	表面洗浄剤		
	剥離剤	NEWギガジェット	剥離剤		
住宅向けビニル床タイル	樹脂ワックス	オール	樹脂ワックス	ホームエグザ、おきピタッと イージー ホームベスタ、ホームエグザ、おきピタッと イージー ホームベスタ、ホームエグザ、おきピタッと イージー	株式会社 リンレイ (TEL:03-3541-5955)
		防水タフコート			
	洗剤	オール床クリーナー	表面洗剤		

※リファインバックエグザは原則として剥離作業は行わないようにしてください。(置敷き施工のため、メンテナンスの際に大量の水や洗剤、ワックスなどを使用することができません。)
※ホームベスタは表面にUVコートが施されており、「オール」では密着性に劣ります。樹脂ワックスを塗布する際は、必ず「防水タフコート」をご使用ください。